

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス キッズ☆station 長浜		
○保護者評価実施期間	R8年1月10日		～ R8年1月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	R8年1月23日		～ R8年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画を作成している。	・送迎の場やアンケートなどを通じて保護者のニーズを把握している。	・個別と集団で身に付けてほしい力を考え、保護者や利用者のニーズに合わせて計画を作成していく。
2	チームで連携して支援を行っている。	・支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	・アルバイトやパート職員への指示が具体的にできるよう注意していく。
3	活動プログラムが固定化されないよう工夫している。	・季節に合わせた芸術活動、イベントを考えプログラムを考えている。様々な経験ができるよう、きめ細やかな計画を立てている。	・活動内容がマンネリにならないよう、活動場所や活動内容の見直しを行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営が十分ではない。	・近所の方以外で住民の方々と接する機会がない。 ・自治会の会議に参加する機会がない。 ・夏祭りなどに参加の呼びかけをしたいが、スペースの面で受け入れられる余裕がない。	・近所の公園を利用したり、挨拶を交わしたりすることで少しずつ交流を図っていく。 ・地域に開かれた事業運営をしている他の事業所の実践を参考にする。 ・職員会議で夏祭り等地域の子どもたちとの交流ができないか可能性を探っていく。
2	・父母の会の活動を支援したり、保護者会等の開催ができていない。	・保護者会を開催してほしいという要望が保護者の方からあがってこない。また、時間的余裕のある保護者が少ない。 ・保護者全体への情報発信には毎月の広報やLINEなどで知らせており、特に不便は感じていない。	・父母会の開催について保護者全員のアンケートをとるなど意識調査ができないか方法を探っていく。 ・保護者会のメリットなど先行実践を参考に探っていく。
3	・支援終了後職員間で打ち合わせをし、気づいた点を話し合う時間がとれない。	・遅い時刻の送迎を希望する家庭があり、職員全員が勤務時間内にそろにくい。	・翌日に振り返りや、気づいた点、改善点など話し合い共有していく。 ・パート職員にも、話し合いの内容を伝えて、共通理解をした上で支援ができるようにする。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス キッズ☆station 長浜

公表日 令和8年3月1日

保護者数 29

回収数 22

		チェック項目	はい	どちらとも いいない		わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
				いい	ない			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	1		4	・子どもの成長に伴いスペースは狭くなる。	学習室、遊具室、PC室、活動室など目的に応じた部屋を設置しています。利用者が多いときは、外出するグループと室内遊びグループに分かれて活動しスペース確保に努めています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18	2		2	・少ないような気もします。	常に指定基準に基づき、職員を配置しています。配置としては利用者2人につき1人の指導員がつけるようにしています。当日の活動場所・活動内容に併せて、担当者を決めています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	3		4		室内はほぼバリアフリーになっています。玄関周りにわずかな段差があり、必ず手をつないで移動しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	1		5		感染症予防のため、利用後の掃除、消毒についてのチェックシートを用い、遺漏がないように実施しています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	3				事前打ち合わせや事後の振り返りを通して、支援方法が適切であったか全員で話し合う時間を設けています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	3	1			昨年12月に新会社となり、提供している支援内容やねらいを見直し、少し修正する予定です。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	2				個別支援計画作成のためのアンケートを実施し、ご要望を十分聞き取った上、今後も作成してまいります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	1		1		事業所でのお子さんの様子や成長されたところ、今後の目当て等、できる限り具体的にわかりやすい内容になるよう努めています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	2				個別支援作成会議を実施し、スタッフ全員でお子さんの最近の姿などを話し合い、共通理解しています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	2				一人ひとりに応じた活動内容を話し合い、一日のプログラムを作成しています。いくつかの選択肢の中から選ぶ活動も実施しています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	3	3	11		現在交流の機会はありません。利用者様及び保護者様の意見をお聞きし検討していきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21	1				契約の際に運営規定、利用者負担、支援プログラムについて説明を行っています。ご不明な点がございましたら気軽にお問い合わせください。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22					必ず対面で、文書を示しながら説明しています。さらに詳しくお伝えする必要があるときは、日を改めて時間を設ける場合があります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	2	7	8		現在は実施しておりません。ご要望がありましたら検討いたします。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	19	2		1		送迎時や個別支援計画の面談の場で、できる限りお伝えできるよう心がけていきます。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	6				個別支援計画の面談は、6ヶ月に一度行っています。それ以外に相談されたいことがありましたら、いつでも遠慮なく申し出ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21			1		一人ひとりのお子さんの特性を理解し、共感的支援ができるよう今後も努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	4	9	6		現在は実施しておりません。ご要望がありましたら検討いたします。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	4	2	1		苦情発生のないように万全を期しておりますが、万が一発生した場合には誠意をもって早期解決に努めています。ただ相談内容によっては、時間を要する場合があります。よろしくご理解いただきますようお願いいたします。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	2				電話対応や送迎の機会を通して保護者の皆さまとのコミュニケーションがより円滑になるよう努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	2		1		1ヶ月に1回、通信を発行し、活動の様子や行事予定をお伝えしています。自己評価結果は全保護者に文書配布するとともにホームページでも公表しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	1		3		個人情報書類は施錠の出来るロッカーで管理し、廃棄時はシュレッター処理するようにしています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	2		7		各種マニュアルやBCP（緊急時の対応）等はすべて策定済みです。避難訓練にも生かすようにしています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	2		6		年2回避難訓練を実施し、その様子を広報でお知らせしています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	1		4		事故発生時・緊急時対応マニュアルを作成し発生の際は冷静に対応できるようにしています。また屋外行事については事前に下見を行い、危険箇所を把握し、安全に活動できるよう努めています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	3		1		事故発生時は、保護者の皆様及び関係機関に連絡し早期対応をしています。送迎車には事故対応マニュアルを常に携帯し、冷静に対応できるようにしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21	1				今後も利用者様、保護者様が楽しみ、満足していただけるよう、努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス キッズ☆station 長浜				公表日	令和8年3月1日
環境・体制整備	1	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・利用者が多いときは室内組と外出組に分ける工夫をしている。	・動きが激しい、運動したい利用者のための運動用具が設置できるスペースが生み出せるよう工夫をします。	
環境・体制整備	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・パートが少ないため常勤でカバーをしていることが多い。現実的には厳しいものがあるが休日調整などで最大限努力している。	・職員が増えたとさらに質の高い支援ができる。採用希望者が増える手立てがないか協議します。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	・視覚支援や子に応じた支援の方法など職員間で話し合っている。	・バリアフリー化されていない箇所があり、足のけが、車椅子の対応が困難。個々の利用者の特性や障害に応じて、環境を整え、配慮をしていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日の掃除消毒は徹底して行っている。掃除場所のチェックシートもあり、しっかりできている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・活動室が三部屋あり、必要に応じて個別指導を行っている。場面にに応じて提供できるよう工夫をしている。	・クールダウンの場所が必要な時、各部屋を有効に使用していきます。	
	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・送迎が終わった後、職員間で話す機会は多くなった。その日の振り返りは確実にしている。	・勤務時間内に、振り返りなどができるように努めています。またパート職員にも話し合った内容を必ず伝えます。	
業務改善	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者の声を聞き、利用者の安心安全につながるよう業務をしている。	・保護者からお寄せ頂いた意見を取り入れ、業務改善に繋げていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・何かあればその都度話し合いをし、次の日からの業務改善につなげている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・ほかの事業所からの職員に現状を見てもらったり、運営や文書管理など共有して行っている。	・今後も、必要に応じて関係機関に見てもらい、改善に向けて話し合う機会を増やしていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・虐待防止やBCP、感染症予防、セクシャルハラスメント防止など法に則った研修を全員で行っている。	・外部の研修会にも職員が積極的に参加できるよう体制を整えます。またその内容を全職員で共有できるようにします。	
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・保護者全員に支援プログラムを配布し理解を得ている。	・新会社になったため、内容の見直しを行い保護者に説明をしていきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・達成の状況など、保護者アンケートなどで把握し計画の改善を図っている。	・モニタリングや達成の状況など、保護者、職員と確認を行いながら今後も計画の作成に取り組みます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・個別支援会議をスタッフ全員で行い、変更点を共通理解している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・支援の方向性についてミーティングを通じて確認している。また、パート職員へも周知するようにしている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・共通のアセスメントツールを使用し、利用者の状況を把握している。気になる行動等は打ち合わせなどで確認している。	・強度行動障害の利用者に対して支援手順書をもとに記録を欠かさずとり支援に生かしています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・本人支援について、利用者の状況、具体的な支援や留意点について文章化し、保護者に分かりやすい表記を心がけている。	・家族支援、地域支援、移行支援について、具体的な内容にならないか検討していきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・一人の職員がプログラムを作るのではなく様々な職員が各々の個性を出してプログラムを考えている。	・職員全員で一人一人の特性や支援目標について共通理解を持ち、活動プログラムの作成をしていきます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・季節に合わせた行事、効果が期待できる活動かどうか、全員で話し合い確認している。	・活動内容がマンネリにならないよう見直しと話し合いを行います。	

提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・利用者に応じて支援内容などを考え職員間で共有している。	・個別と集団で身に付けてほしい力を考え、保護者や利用者のニーズに合わせて計画を作成していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・土曜、祝日は送迎の為、来所前に打ち合わせができない職員もいるが、活動前には必ず打ち合わせを行っている。	・アルバイトやパート職員への指示が具体的にできるように努めます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	・送迎の職員もいる為、支援終了の当日に振り返りを行えない場合もあるが、翌日以降に振り返りや、気づいた点、改善点など話し合い共有している。	・人権に関わる内容等、重要な案件については、その日のうちに時間を取って共通理解できるようにしていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・記述内容が具体的でないことがあり、チェックを行い記述を追加している。	・記録の情報をもとに、支援の検証や個別支援計画の作成に使用しています。感想ではなく、事実の記録を徹底し指導改善に繋がるようにしていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・6ヶ月に一度はモニタリングや話し合いをし、計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・①自立支援と日常生活の充実②多様な遊びや体験活動③地域交流の活動④主体的に参画できる活動をベースとして支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	○		・活動内容についていくつかの選択肢を用意し、その中から利用者が選び、活動内容を決定している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・サービス担当者会議には毎回参加するようにしている。管理者だけでなく必要に応じて担当も同席するようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○	・検査結果を共有したりチェックシートを記入したりし文書で情報を共有している。	・今後、文書共有だけでなく、必要に応じて相談に向くなど連携を深めていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・送迎時には利用者の担任と情報の共有を行っている。	・行事や送迎時間だけでなく学校での様子や行動、トラブルなどの情報も共有し連携が取れるように努めます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○	・児童発達支援センターとは情報共有をしている。	・今後必要があれば、こちらから連絡を取り、情報共有等努めていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		・希望があれば情報を提供するが今のところ希望はない。今後必要があれば、こちらから連絡を取り、情報共有等努めていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・強度行動障害のケースについて発達支援センターや関係機関と連携をとり支援の方向性を模索しています。	・その他のケースについても、必要に応じて発達支援センターや関係機関と連携をとり支援の方向性を模索していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	・公園などで地域の子どもと一緒に遊ぶことはある。他の児童クラブとは、外出先で出会ったとき一緒に遊ぶことがあった。	・定期的な交流など、保護者様の意見も取り入れながら、今後検討します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・全体会に参加し、分科会の会議記録にはかかさず目を通して。協議会主催の研修会には積極的に参加している。	・時間のやりくりをし、分科会にも参加していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・子どもの様子や確認事項など保護者と話し合い共有するようにしている。	・送迎時や電話だけでなく、支援計画の更新時など計画的に時間を設けて共通理解を計っています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		・多忙な保護者が多く、集団で集まる機会がなく実施できていない。機会があれば実施していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・運営規程、支援プログラム、利用者負担等については、契約時に詳しく説明している。	・内容について不明な点がある場合は、お問い合わせいただいています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・保護者の意向や利用者の楽しみにしていることなどアンケートや面談などで聞き取っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・保護者全員と何らかの形で面談を行い、計画について同意してもらっている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・保護者から出た悩みについて、ゆっくり話し合う場を設けている。	・定期的な面談だけでなく、お困りごとや相談などはその都度ご連絡をいただきましたら対応させていただきます。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		・多忙な保護者が多く、希望される方がいませんので、保護者会等の開催は今のところ考えておりません。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	・苦情に対しては、まずは事業所内で話し合い、早急に対応するようにしている。	・今後も苦情発生のないよう努めて参りますが、発生した場合は迅速に対応、改善を行っています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	・毎月、お便りや利用予定表でイベントなどを通知している。	・月に1度通信を配布しています。保護者からこんな情報が欲しい等のご要望がありましたら掲載していきたいと思えます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	・文書庫は必ず施錠し、廃棄の場合はシュレッター処理するなど扱いを厳重にしている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	・視覚支援等、利用者、保護者に合わせた配慮を行い、コミュニケーションを取っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・地域住民の招待は現在行っていません。今後夏祭りなどの行事の時に、実施可能であれば検討します。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	・全てのマニュアルは整備し、いつでも活用できるようにしている。	・それぞれのマニュアルの内容についてわかりやすい形で保護者様に周知できないか検討します。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	・年2回火災や地震、洪水などを想定した避難訓練を実施している。またその様子を広報で知らせている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○	・保護者から連絡や指示があったときは、職員全員で共有し対応を間違えないようにしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	・アレルギー症状がある利用者を契約時に把握するとともに、食事場所やおやつの種類など対応を共有している。	・食物アレルギーには細心の注意を払い、誤食がないように徹底します。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	・屋外行事については事前に下見を行い、危険箇所を把握し、指示を統一している。また事業所内の設備が破損している場合は直ちに撤去、修理を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	・避難訓練のならい、第1避難場所などについては広報で保護者に通知している。	・災害が起きたときの対応や避難先について保護者に簡潔な形で知らせる方法がないか検討します。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	・事例集を作成し、職員間で共有し、再発防止に取り組んでいる。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	・虐待防止のためのミーティングは定期的に行っている。利用者への支援や関わり方等で困っている点があれば、その都度話し合いをしている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・現在は拘束事案がないため実施はしていませんが、計画立案の際は必ず保護者の同意を得るようにしていきます。	